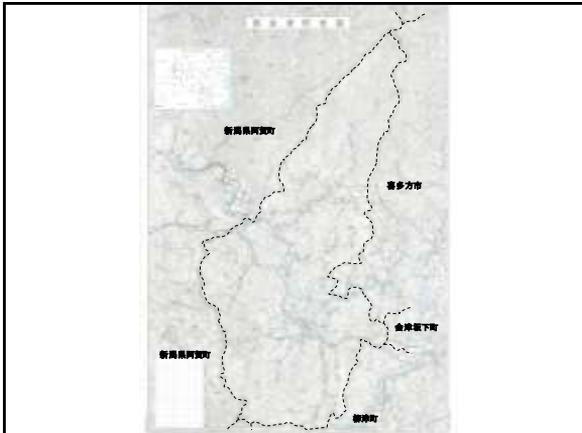


森林環境交付金を活用した 有害鳥獣対策について

西会津町農林振興課

1. 西会津町の概要

- 本町は福島県の北西部に位置し東に喜多方市、会津坂下町、南に柳津町、金山町、北と西は新潟県の阿賀町に隣接し、会津の西の玄関といわれている。

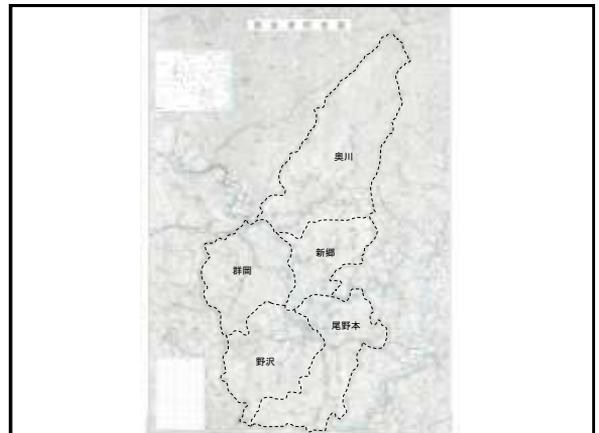


1. 西会津町の概要

- 町の面積は、面積298km²で東西17.6km、南北34.5kmと細長い形をしており、全体の約86%は山林となっている。
- 町中央部を阿賀川が東から西へ横断するように流れており、それに沿うようにして磐越自動車道、国道49号線、JR磐越西線が横断している。

1. 西会津町の概要

- 町内は北から、奥川、新郷、群岡、野沢、尾野本の大きく5地区に区分される
- 90の自治区があり、世帯数は2,813世帯、人口は7,523人、内65歳以上の高齢者が40.0%となっている。(7月1日現在)



2. 本町での有害鳥獣による被害状況

- 平成23年度における農作物被害額

有害鳥獣名	被害額	主な被害農産物
ニホンザル	285万円	キュウリ、ジャガイモ
ツキノワグマ	28万円	スイカ、トウモロコシ
イノシシ	131万円	水稲
計	444万円	

2. 本町での有害鳥獣による被害状況

- 平成19年度における農作物被害額

有害鳥獣名	被害額	主な被害農産物
ニホンザル	604万円	水稲、大豆
ツキノワグマ	—	
イノシシ	—	
計	604万円	

3. 取り組んできた対策

- ① 捕獲による個体数調整
- ② 電気柵等の被害防除機器の導入
- ③ モンキードックによる追払い
- ④ 未利用果樹木の伐採整理
- ⑤ 森林整備による出没抑制対策などの様々な取り組みを行ってきた。

4. 森林整備による出没抑制対策

集落周辺や農地周辺の荒廃した森林



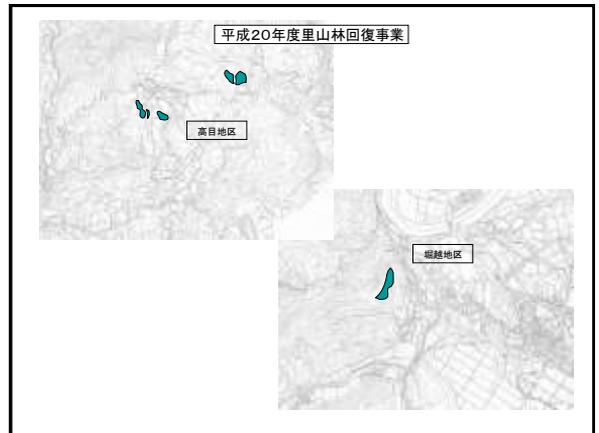
ニホンザルやツキノワグマの出没時のルートやねぐらとなっている。

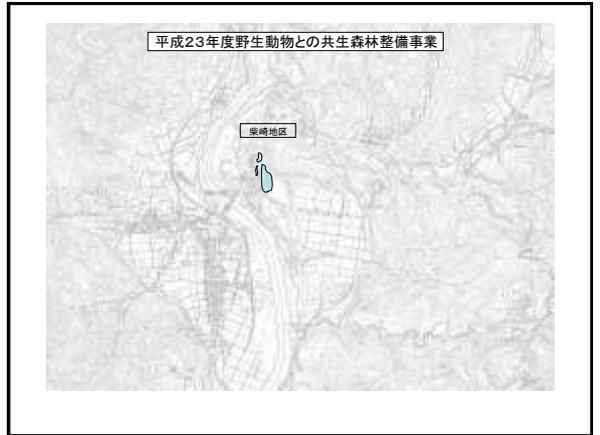
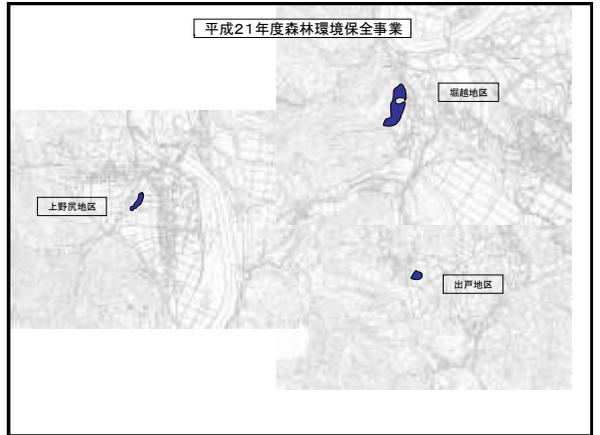


森林内を除間伐し、明るく見通しよくする事により野生鳥獣が出没しにくい環境づくりを行う。

4. 森林整備の実績

年度	事業名	地区名	事業費(千円)	事業量(ha)	針葉樹	広葉樹
23	野生動物との共生森林整備	染井	2,483	6.51	6.51	0.00
		1地区	2,483	6.51	6.51	0.00
		上野原	1,477	5.75	5.75	0.00
22	野生動物との共生森林整備	下野原	2,258	5.77	3.57	2.20
		摩敏	3,938	6.86	0.00	6.86
		2地区	7,672	18.39	9.32	9.06
		新町	3,780	6.10	0.10	6.00
		松峯	2,415	4.00	0.00	4.00
21	野生動物との共生森林整備	2地区	6,195	10.10	0.10	10.00
		福屋	1,103	2.36	2.36	0.00
	森林環境保全	上野原	399	0.68	0.68	0.00
		出戸	504	0.78	0.78	0.00
	里山林回復	3地区	2,006	3.82	3.82	0.00
		山邊	4,410	7.37	0.00	7.37
		1地区	4,410	7.37	0.00	7.37
	字びの森林整備	樽山	672	0.39	0.00	0.39
		1地区	672	0.39	0.00	0.39
		2地区	13,283	21.68	3.82	17.76
20	里山林回復	高目	2,770	4.50	0.00	4.50
		堀越	1,760	2.80	0.00	2.80
		2地区	4,530	7.30	0.00	7.30
		計	11地区	27,948	53.87	19.75





4. 森林整備の実施状況(針葉樹)

整備前

整備後



4. 森林整備の実施状況(広葉樹)

整備前

整備後



5. クマハギ被害防止対策

クマハギ被害とは

ツキノワグマがスギなどの樹木の表皮を剥ぐことです。

(被害は主に木が盛んに水を吸い上げる時期の5月から8月頃に発生している。)

樹液は甘いといわれ、それを吸うために樹皮を剥ぐのだと言われている。

5. クマハギ被害防止対策

被害にあった杉林



5. クマハギ被害防止対策

被害にあった杉林



5. クマハギ被害防止対策

表皮をはがされた木は

木が変色してしまい商品価値が下がる。
被害が大きいと枯れてしまう。

5. クマハギ被害防止対策

町内の区長さんにアンケートを実施

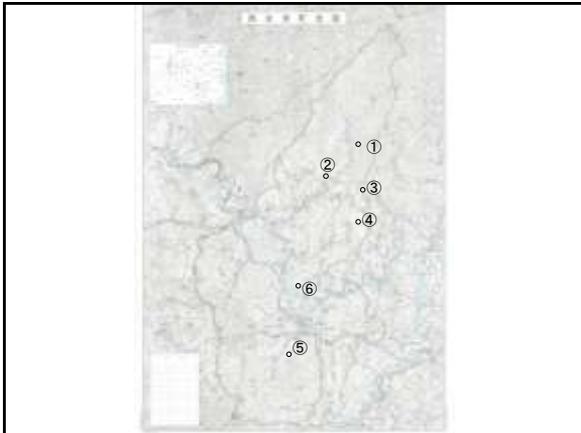
町内の9自治区から被害が発生しているとの回答が寄せられた。

また、杉林が山奥だったり、高齢化で山に入れないため状況が把握できないとの回答があった自治区もあった。

5. クマハギ被害防止対策

・ 町内の5地区で被害状況の調査を実施

地区名	調査面積 (ha)	調査数 (箇所)	成立本数 (本/100m)	被害本数 (本/100m)
① 奥川・飯根	0.50	2.0	13 ~ 15	6
② 奥川・大綱木	1.30	3.0	15 ~ 16	6 ~ 7
③ 奥川・飯沢	2.40	5.0	14 ~ 16	5 ~ 7
④ 新郷・富士	3.00	5.0	12 ~ 14	4 ~ 6
⑤ 野沢	2.20	5.0	11 ~ 15	4 ~ 7
⑥ 新郷・三河	1.00	3.0	12 ~ 14	4 ~ 5
計	10.40	23.0	11 ~ 16	4 ~ 7



5. クマハギ被害防止対策

実施した被害対策

立木に巻きつける被覆型の防除対策を行った。

(材料は成長に支障のないような材料を使用した。)

5. クマハギ被害防止対策

実施した被害対策

- ① ウィリーGP (1本に1枚巻き付ける)
 (生分解性プラスチック製、幅17cm、長さ150cm、厚さ0.35mm、重さ95g)
 価格 435円/枚 (1本当り720円)

5. クマハギ被害防止対策

ウィリー
GP





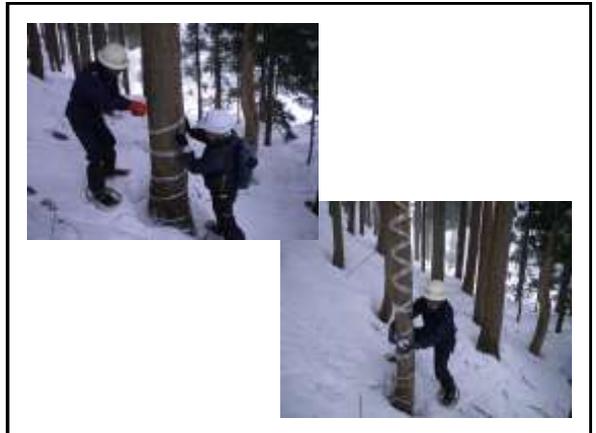
5. クマハギ被害防止対策

実施した対策

- ②リンロンテープ(根元から1m程度の高さまで巻きつける)
(生分解性テープ、1巻220m)
1,000円/巻 (1本当り160円/本)

5. クマハギ被害防止対策

リンロンテープ



5. クマハギ被害防止対策

実施した対策

- ③荒縄巻(幹の2箇所程度を縛る。)
荒縄(太さ2分5厘、145m/巻)
810円/巻 (1本当り145円)



5. クマハギ被害防止対策

・調査した6箇所に

- ① ウィリーGP 200本
 - ② リンロンテープ 200本
 - ③ 荒縄巻 200本
- 合計 600本 の対策を実施

5. クマハギ被害防止対策

対策前の状況



5. クマハギ被害防止対策

被害対策後



5. クマハギ被害防止対策

現在の状況



6. 最後に

- ① 森林環境の整備
- ② 良質材の生産による木材の利活用
- ③ 人と鳥獣の棲み分けによる鳥獣被害対策
等を目的として今後も積極的に森林環境税を
活用した森林整備を進めていく。